

主要施策名:(3)スポーツ活動の充実

事務事業本数:7

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
②人と文化を育む地域づくり	(3)スポーツ活動の充実	(1)生涯スポーツ活動の普及振興	231-1	市民スポーツ振興事業	スポーツ振興課
		(2)競技スポーツの組織強化と指導者の育成	232-1	体育団体運営支援事業	スポーツ振興課
		(1)生涯スポーツ活動の普及振興	231-2	競技スポーツ大会補助事業	スポーツ振興課
			231-3	国際スポーツ大会キャンプ誘致等推進事業	スポーツ振興課
			231-5	フルマラソン大会運営事業	スポーツ振興課
		(3)体育施設の整備充実と利用促進	233-1	体育施設管理運営事業	スポーツ振興課
			233-2	多目的競技場建設事業	スポーツ振興課

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 市民スポーツ大会委託事業	各種目団体へ社会体育活動の推進を委託し、大会を開催する。	実施大会数	大会	7	7	3	7
② スポーツ事故見舞金	スポーツ大会での怪我等に対する見舞金。	見舞金件数	件数	0	1	0	0
③ 荒玉地区スポレクフェア事業	荒尾玉名地区で開催するニュースポーツ大会	実施大会数	大会	1	1	1	1

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(市民スポーツ大会参加者数)	1538	1566	1131		1200	
投入コスト合計(千円)	4,380	2,330	5,151		5,754		
対象1単位あたりのコスト(千円)	3	1	5		5		
コスト評価(対前年比)	***	191.40%	(↑)	32.67%	(↓)	94.98%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1 市民スポーツ大会参加者数(全市民対象事業)	市民スポーツ大会、スポレクフェア及び支館対抗駅伝の合計参加者数	人	1500	1500	1600	1200
2			1538	1566	1131	

* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3大会については開催を中止した。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由() 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	新型コロナウイルス感染症のため複数の大会開催を中止したため、事業実施は困難であった。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	現状のまま継続する。 支館対抗駅伝大会は支館事業としてコミュニティ推進課へ事業移管済み。(令和元年度)一定のニーズが見込まれるが、さらに参加者を増加させるため、広報やホームページ以外の周知方法を検討する必要がある。スポーツ推進委員や体育協会の種目団体と協力し実施する事業として周知しやすく参加しやすい大会を目指し引き続き協議が必要である。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	市民スポーツ大会等においては、年々参加人数が増加しており、ニーズがあるものと判断しているが、規模を広げると予算に反映する事となり、現状のまま継続することが好ましいと考える。予算を伴わない範囲での規模拡大を模索する必要がある。	評価責任者 小山 晃生
-------------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 玉名市体育協会補助金事業	体育協会全体及び種目協会に補助し、競技力を向上させる。	加入団体数	団体	30	33	34	34
② スポーツ推進委員協議会等運営事業	スポーツ推進委員協議会への活動補助を行い、活動の推進を行う。	地域スポーツ活動事業数	本	13	13	13	13
③ 熊本県体育協会スポーツ振興事業	県体育協会への負担金を納め、活動支援を行う。	事業数	本	1	1	1	1

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	
	対象(県民体育祭出場者数)	397	365	383	350
	投入コスト合計(千円)	15,858	21,848	24,017	29,371
	対象1単位あたりのコスト(千円)	40	60	63	84
コスト評価(対前年比)	***	66.73%	(↓) 95.46%	(↓) 74.73%	(↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 県民体育祭総合順位	県民体育祭出場全種目の男女総合順位	位	5	5	5	5
2 県民体育祭出場者数	出場選手及び役員数(参加人員一覧表(様式2)から)	人	350	400	350	350
* 成果未達成時の理由			全体順位で9位(目標5位)となり、前年度から順位を下げてしまっている。競技者の減少や高齢化などによりベストなメンバー編成ができず各種目団体が苦慮している。抽選会での組み合わせが順位に大きく影響している。			

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 [22]	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 [23]	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	
		・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
		・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
		・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
		・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
		・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		・成果指標の目標値を達成した	
		・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
		・法定事務であり成果は求めにくい	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
		・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
		・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		・負担率【 0.00 %】	
		・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(補助金事業であるため)	[24]

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	補助金支給により、体育協会やスポーツ推進委員協議会への運営支援を実施することができている。総合型地域スポーツクラブについては、立ち上げから3年間の補助、その後は民間主体により活動できるよう計画しており、次年度最終年で自立する方向性を示した。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	現状のまま事業を継続する。ただし、総合型地域スポーツクラブ関連事業については、令和2年度にて補助終了予定。玉名市体育協会及び玉名市スポーツ推進委員協議会への支援は、種目団体による競技力向上並びに地域住民のスポーツ振興及び健康増進の推進はもとより、生涯スポーツの普及推進及び地域間融和を図る上で重要な役割を持つ団体であることから、今後も現状のまま継続する。なお、小学校部活動は社会体育へ移行が完了しており、既存のクラブチーム又は総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団が受け皿となっている。(移行後の活動を柔軟にするため、使用料免除等を実施し運営を間接的に支援している。)		
次年度への予算反映(連動) [27]	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)	<input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)	総合型地域スポーツクラブ自立支援補助金事業

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	体育協会、スポーツ推進委員協議会においては、競技スポーツの競技力向上、地域スポーツ活動の普及を図る上で、必要不可欠な団体であり、今後も継続していく必要がある。総合型地域スポーツクラブ自立支援補助金事業においてはR2年度で終了し、人的支援や各種相談にのる等の支援を今後も継続していく必要があると考える。	評価責任者 小山 晃生
-------------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 全国大会出場激励金交付事業	全国大会以上の大会に出場する市民に対して激励金を交付する。	激励金交付者数	人	96	121	106	150
② 金栗杯玉名ハーフマラソン大会事業	実行委員会に対して補助を行い大会を支援する。	開催回数	回	1	1	0	1
③ くまもと玉名杯九州高等学校レスリング大会補助金事業	実行委員会に対して補助を行い大会を支援する。	開催回数	回	1	1	1	1

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
対象(スポーツ大会参加者数)	1166	1185	52	1100
投入コスト合計(千円)	12,436	16,223	13,194	19,781
対象1単位あたりのコスト(千円)	11	14	254	18
コスト評価(対前年比)	***	77.91% (↓)	5.40% (↓)	1410.97% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1 競技スポーツ大会参加者数	参加者数(玉名ハーフ、レスリング、駅伝)	人	970	1000	1200	1100
2			1166	1185	52	

* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、玉名ハーフマラソン及び金栗駅伝大会を中止とした。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(補助事業のため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、玉名ハーフマラソン及び金栗駅伝大会を中止としたが、それ以外の大会については実施、補助することができた。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	第71回を迎える予定であった本金栗四三氏を冠としたハーフマラソン大会や金栗駅伝大会は、大河ドラマ放映によりその重要性が再認識され、また競技者の能力向上等に貢献しなければならぬため、継続して実施していく必要がある。 九州高等学校レスリング大会は本市で団体や高校総体が開催されており、レスリングのまちづくりとしてイメージ構築がなされているため継続する。 全国大会等出場激励金については、市民や市議会議員より出場者に対して玉名市民に誇れる制度への見直しの要望があり、支給額の増額や全体予算額の増額、対象者の拡充など、今後も協議を続ける必要がある。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	全国大会出場激励金においては、申請数が増加傾向にあり、本市の競技力の向上がなされているものと評価すると共に、今後も増加する事に伴い財政的な措置が必要と思われる。玉名ハーフマラソン大会においては、NHK大河ドラマ「いだてん」の放映に伴い、金栗四三氏が再認識されており、競技自体の継続はもとより、観光面においても、観光客誘致に絶好の機会と思われる。	評価責任者 小山 晃生
----------------------	--	-----------------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① アンゴラ共和国代表選手団事前キャンプ誘致事業	情報発信、講演会や教室	実施数	回	1	3	6	6
② スポーツ合宿誘致等推進事業	スポーツ合宿	実施校	校			1	1
③ パラスポーツ体験型授業事業	体験型授業	実施数	回	5	4	6	6

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
対象(情報発信、講演会や教室実施数)	6	7	13	13
投入コスト合計(千円)	3,989	9,855	16,997	39,116
対象1単位あたりのコスト(千円)	665	1,408	1,307	3,009
コスト評価(対前年比)	***	47.22% (↓)	107.68% (↑)	43.45% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 国際スポーツ大会等キャンプ誘致数	キャンプ誘致数(国内チーム含む)	件	0	0	1	2
2 国際スポーツ大会に係る講演会等の開催数	あすチャレ実施回数 (車椅子バスケット、パラアスリート体験型授業)	回	5	4	6	6
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input checked="" type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(本市からのトップセールス等が主だったため。)	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	<p>前回は本市が東京2020オリンピックの事前キャンプの誘致活動のため駐日アンゴラ大使館(大使)に行き、市長によるトップセールを行った。今回は、7月、アンゴラ共和国において、東京2020オリンピックの事前キャンプ実現に向けて、アンゴラオリンピック委員会会長と覚書締結を行った。8月にはアンゴラ共和国のホストタウンとして認可を受けた。</p> <p>また、2019女子ハンドボール世界選手権大会(熊本大会)では、事前キャンプ実現に向けて取り組んだが、アンゴラの経済悪化の影響を受け、キャンプ実現は出来なかった。そのため、選手との交流は実現できなかったが、ポルトガル語教室やアンゴラ料理教室、約230名の市民応援団によりアンゴラ選手の応援など市民と一体となった。</p>		
今後の方向性 【26】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	2020東京オリンピック競技大会は新型コロナウイルス感染拡大のため1年延長されたため、2021年7月の事前キャンプ実現に向けて取り組んでいく。 また、パラアスリートを通じた体験型授業の開催や、筑波大学陸上部の合宿地として誘致活動を行っていく。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	<p>新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、東京2020オリンピックの延期により、H29年度中のアンゴラ大使館の事前キャンプ開催等の実施も1年先送りになった。R2年度においては、アンゴラ共和国の組織の再編の情報も入っており、ほぼゼロからの交渉と思われるが、2019女子ハンドボール世界選手権大会時の計画も実現できず、関係団体(小学校含む)も心待ちにしていることから、実現に向けて適時交渉を行っていかなくてはならないと思う。</p> <p>また、R2年度においても、昨年度同様筑波大学が箱根駅伝本戦に出場したこと、R2年度も合宿を行う予定と聞いていることか</p>	評価責任者 小山 晃生
----------------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画	
①	フルマラソン大会運営業務	補助金を大会実行委員会に交付し、フルマラソン大会開催の支援を行う。	実行委員会等開催回数	回	***	***	4	3
②		検討会議を開催する。	開催回数	回	***	2	0	0
③		おもてなし、救護に係る会議を開催する。	開催回数	回	***	0	10	5

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算		H30年度決算		R01年度決算		R02年度予算	
	対象(大会参加者数(全体))	0	0	7090	8000			
	投入コスト合計(千円)	0	3,243	23,933	48,215			
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	3	6			
	コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	0.00%	(-)	56.01%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 大会参加者数(全体)	延べ参加者数	人	***	***	8000	8000
2 大会参加者数(市外)	延べ参加者数(市外)	人	***	***	7090	7000
			***	***	7000	7000
			***	***	6372	

* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、大会を中止した。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由() 【24】		

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	令和元年度第1回大会を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった。令和2年度は改めて協議を重ね準備を行うこととする。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	フルマラソンコース見直しを含め、継続的に協議を行っていく。事業については、現状のまま継続する。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	記念すべき第1回大会を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。令和2年度は、更に充実した大会になる様改めて準備を行うと共に、TV放送等を考える必要があると考える。企業協賛金も前年以上の協賛を頂けるよう各企業を訪問し詳細な説明をすべきと考える。	評価責任者 小山 晃生
-------------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 桃田運動公園管理運営事業	施設設備も含め、適正な管理運営を行う。	利用人数(公園を除く)	人	159076	185678	158183	150000
② 桃田運動公園指定管理事業	施設の適正管理とともに、公園利用者の増加に努める。	利用人数(公園施設)	人	59246	69803	49798	55000
③ 岱明、横島、天水地区施設管理運営事業	施設設備も含め、適正な管理運営を行う。	利用人数(公園を除く)	人	173928	218413	185395	180000

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算	
	対象(利用者数(公園を除く))	436225	506208	429158		450000
投入コスト合計(千円)	433,431	136,405	149,864		340,575	
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	0	0		1	
コスト評価(対前年比)	***	368.74% (↑)	77.16%	(↓)	46.14%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1 体育施設等総利用者数	市スポーツ施設を利用した総人数(公園や広場を除く)	人	250000	300000	450000	450000
			436225	506208	429158	
2						

* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、3月から施設の使用を停止したため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由()	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	総合体育館空調を使用しインターハイを実施した。全国大会ということもあり多数の来館があった。またアンゴラ共和国のキャンプを受け入れる(今回は中止)など、施設の存在意義は大きい。指定管理者は3年目ということもあり、昨年度に比べサービス面では向上していた。 新たに蛇ヶ谷公園の指定管理もはじまり、いままで以上のサービス向上に向けて協議が必要である。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	平成31年度(令和元年度)に蛇ヶ谷公園及び武道館の指定管理が新たに5年間で開始された。令和2年度からは勤労者体育センター弓道場について3年間の指定管理が開始。 今後、令和4年度から桃田運動公園及び岱明他7施設の5年間更新となり、施設の運営等については各管理者と協議を重ねよりよいサービスが提供できるよう努める。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	令和元年度より蛇ヶ谷公園及び武道館の指定管理が新たに5年間で開始され、令和2年度からは勤労者体育センター弓道場について3年間の指定管理が開始された。今後、令和4年度から桃田運動公園及び岱明他7施設の更新が予定されているが、指定管理と直営でのメリット・デメリットを精査し、必要に応じ直営での運営も検討すべきと考える。総合体育館においては、全国大会が開催できる施設であるため、今後も収益性のある大会の誘致も積極的に行うべきと考える。	評価責任者 小山 晃生
----------------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 多目的競技場建設検討事業	サッカー場建設にあたって会議を開催する。	会議回数	回	0	0	0	0
② 多目的競技場建設事業							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算	
	対象(会議回数)	0	0	0	0	0	0
投入コスト合計(千円)	0	590	0	0	548		
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0	0		
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	0.00%	(-)	0.00%	(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 サッカー場建設の進捗率	建設工事進捗率	%	0	0	0	0
2			0	0	0	

* 成果未達成時の理由 検討委員会による建議書提出後、建設場所や規模等の協議が中断しているため

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由() 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	市が提案した伊倉中北地区にサッカー専用グラウンド2面を整備する計画案には、議会公共施設等建設特別委員会の意見より見直し意見があり、財源を含め課題の整理を行った。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容 【27】	建設規模及び候補地選定など内容が多岐にわたるため慎重な協議が引き続き必要となる。サッカー場建設に併せて400メートルトラックの整備の必要性を検討した上での多目的競技場建設も視野に入れるため、再度検討を開始する必要があるが、昨年度同様今後の会議予定はない。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	建設規模、形態及び候補地選定等課題が山積しており、いずれにしても、建設にかかる予算規模が莫大であり、現在の玉名市の財政規模での建設が可能か、補助金率の良い補助金の模索も必要と思われる、今後慎重に検討を進めるべき案件である。サッカー場単体での建設は非効率であるため、400mトラックの陸上競技場と兼用の多目的な施設の建設を進める事が現実的と考える。	評価責任者 小山 晃生
----------------------	---	----------------